

Press Release

報道関係者各位



107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11 階
 TEL : 03-5545-3303 FAX : 03-5545-3305
 ホームページ www.ssf.or.jp

住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー2014』—本年度のアワード受賞自治体が決定—

チャレンジデー大賞(参加率の最も高かった自治体)は、

新庄村(岡山県) 101.8%

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野 清子 以下:SSF)は住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」を、5月28日(水)に開催いたしました。

全国118ヵ所の市町村で実施されたチャレンジデー2014は、**参加者数 2,391,129 人、平均参加率 53.6%**の結果となりました。(昨年は、参加者数 2,053,284 人 平均参加率 50.0%)

実施自治体の中で、参加率(人口における参加者数の割合)が最も高かった自治体に贈られる「チャレンジデー大賞」には、岡山県新庄村(101.8%)が輝きました。

初実施の自治体で最も参加率が高かった自治体に贈られる「チャレンジデー新人賞」は、秋田県藤里町(80.7%)が受賞しました。

※「参加率アップ賞」と「カテゴリー別優秀賞」は、2枚目をご確認ください。

◆チャレンジデー大賞 2014 (参加率の最も高かった自治体)

新庄村(岡山県).....101.8%

(参加者数 1,009 人/人口 991 人)

◆新人賞 (初実施の中で、参加率の最も高かった自治体)

藤里町(秋田県)....80.7%

(参加者数 3,020 人/人口 3,742 人)



チャレンジデー2014 開催概要

【開催日】 2014年5月28日(水)午前0時~午後9時

【実施自治体】 全国118ヵ所(64市43町11村)

【参加者数】 2,391,129人

【主催】 笹川スポーツ財団、各自治体

チャレンジデーは、日常的な運動・スポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや住民の健康づくりなどを目的に、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される住民総参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士で、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競い合い、敗れた場合は対戦相手の自治体の旗を、翌日から庁舎のメインポールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われます。

■ この件に関するお問い合わせ先 ■

研究調査グループ チャレンジデー担当:有田・小淵・松井・上(カミ)

TEL:03-5545-3303 cday@ssf.or.jp



すべての人にスポーツの楽しさを

笹川スポーツ財団(SSF)は「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進している公益財団法人です。

日本におけるチャレンジデー2014は、ポトレースの交付金による日本財団の助成により実施しています。



◆参加率アップ賞

昨年(チャレンジデー2013)と比較して、参加率が最も上がった自治体

自治体名	県名	上昇数	2013年 → 2014年
潟上市	秋田県	37.9 ^{ポイント} UP	37.1% → 75.0%

◆カテゴリー別優秀賞

同カテゴリー内で参加率が最も高かった自治体

カテゴリー	自治体名	都県名	参加率	参加者数/人口(※)
カテゴリー1 (人口 4,999 人以下)	新庄村	岡山県	101.8%	1,009 人/991 人
カテゴリー2 (5,000~9,999 人以下)	標津町	北海道	78.8%	4,358 人/5,529 人
カテゴリー3 (10,000~29,999 人以下)	陸前高田市	岩手県	73.1%	15,013 人/20,541 人
カテゴリー4 (30,000~69,999 人以下)	上三川町	栃木県	83.2%	26,198 人/31,497 人
カテゴリー5 (70,000~249,999 人以下)	甲斐市	山梨県	73.4%	54,770 人/74,636 人

※チャレンジデー実施時に使用する 2014 年 2 月 1 日現在の人口



★各自治体の参加率やチャレンジデーに関する詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.ssf.or.jp>

■ この件に関するお問い合わせ先 ■

研究調査グループ チャレンジデー担当:有田・小淵・松井・上(カミ)

TEL:03-5545-3303 cday@ssf.or.jp

SPORT FOR
every
one

すべての人にスポーツの楽しさを
笹川スポーツ財団 (SSF) は「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進している公益財団法人です。
日本におけるチャレンジデー2014は、ポートレースの交付金による日本財団の助成により実施しています。

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION